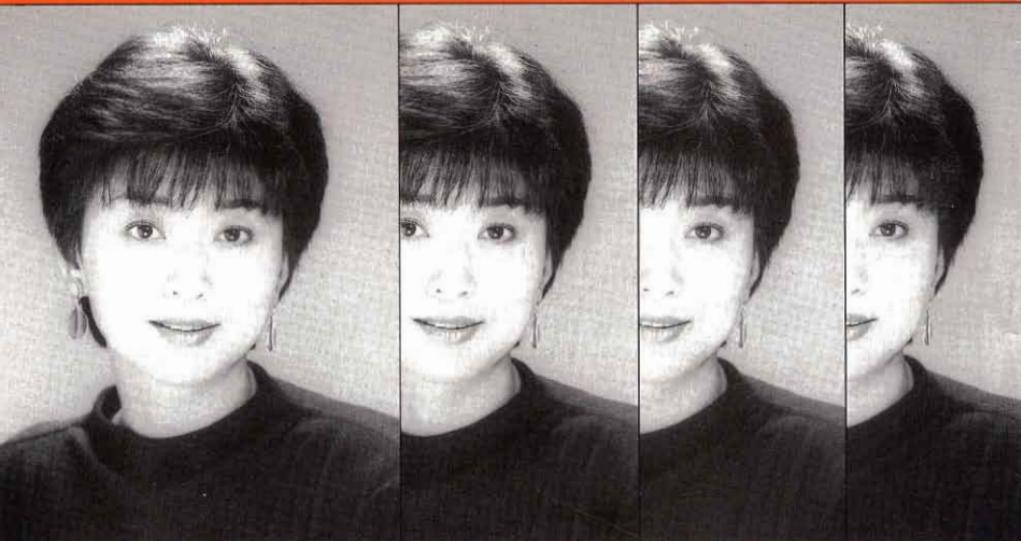


# ・みえこの突撃インタビュー2



# 「占いの玉手箱」

竹村亞希子さんを訪ねて

みなさまお元気ですか?今月は、30名の女性占い師を率いて「占いの玉手箱」を主宰している竹村亞希子さんを訪ね、お話を伺いました。竹村さんは名古屋の財界でひっぱりダコ。名古屋に本社をおく1部上場会社の常連客の相談も毎月こなす占いビジネスの超売れっ子。お忙しい時間を頂戴し取材を敢行しました。



## ■仙人との出逢い、5年間の修業!?

つきなみなことお伺いしますが、占いの世界に入るきっかけは?

小学校2年生のころ姓名判断の本を丸覚えして、同級生や先生の名を片っから占ってみました。相手の環境や考え方方が分かり超能力児(笑い)ぶりを発揮してました。本格的に占いの世界に入ったのは中学2年時の時。仙人のような風さいの見知らぬ放浪者風の人人が訪れ、居候に。この仙人は熊本出身の大仙めいそうという占い手法のほとんどすべてを極めた人だったのです。易学・人相・手相・姓名学から命宮学(易と対立の存在)まで5年毎日夜遅くまで教えていただいたのです。きっかけとしたらこの仙人との出逢いかしら……。

## ■魔女クラブは若手女流占い師の集まり

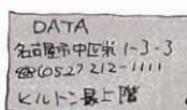
占いをビジネスとしてとらえられたのはいつごろからですか？

ええ昭和53年からです。皆様のおかげで今では若手占い師30名を抱する組織となっていますが、資本金は2000円でスタートしました。1000円で名刺を作り、残り1000円は交通費を使いました。

## ■占いは予言ではありません

占いを受ける側の心得は？

占いってその答えによって人生を左右するものではないと思って下さい。つまり、占いはあくまでひとつの“データ”であって予言ではないのです。私、思うのですが“こまつた時の神だのみ”で占いを利用するのはキケンですね。



## ■占われる上級者とは……

じゃあ具体的に占いとのつき合い方は？

自分の考えているコトを考えあぐねてある答を見つけて、占いにいらっしゃるのが初心者。考えた末に答を見つけ裏付けをとりにいらっしゃるのが中級者。でも占われの上級者の方は「自分で考え決定したコトが占いでどう占われるか？」と楽しみに聞きにいらっしゃいます。(大笑い)ホントなんですヨ。つまり占いを“データ”として客観的にとらえ、結果を聞いた上で不安なリスクなり危機感を抱けばその対応策を考えればいいんです。私の場合占ってみてホントに「危い」とか「ああダメだな」と感じた時、言葉のニュアンスには気を付けますが、やはりホントのことをお話ししてしまいます。参考にしていただいて逃避するのではなく、安全な道へ回避するなり時を待つなりの方向性への“データ”として活用していただければ占う者としてもうれしいですね。

どうもありがとうございました。

## ■川島三栄子(かわしまみえこ)

地元名古屋でベテランフリーランサーとして活躍中。東海テレビ土曜サタデー年にわたって各界名士500名インタビューは余りにも有名。朝日カルチャーセンター話し方教室レギュラー講師・企業新入教育、ナレーション、CM等活動は多岐にわたる。

